

管内市町村における高齢者の服薬支援体制の推進状況 今年度予定している取組計画

市町村名	具体的な内容
増毛町	<p>今年度下半期に、地元薬局薬剤師に講師を依頼し、増毛町地域包括支援センターと保健所の共催による多職種連携研修会・地域ケア会議を開催予定。</p> <p>地域包括保健師が把握している課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能が低下している高齢者の服薬支援は、手間はかかるが苦労はない。 ・支援の困難感を感じるのは、向精神薬等を過剰服薬するケース。 ・地元薬局には3人の薬剤師がおり、訪問薬剤指導も実施。 ・地元薬局との連携は「さくら園ましけ」が積極的に展開。
苫前町	<p>R5年8月4日に、地元薬局（アイン薬局）薬剤師を講師とし、苫前町地域包括支援センターと保健所の共催による多職種連携研修会・地域ケア会議を開催予定。</p> <p>検討テーマ： 「リウマチ疾患で治療中だが、服薬トラブルのある高齢者の服薬支援について」</p> <p>地域包括保健師が把握している課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分はきちんと薬を飲んでいる」と発言する高齢者ほど服薬はきちんと行えておらず、大量の薬が自室より出てくる。 ・リウマチの治療を行っている患者は何故か服薬トラブルが多い印象。
羽幌町	<p>今年度下半期に地域ケア会議で、服薬に課題のある高齢者について事例検討予定。</p> <p>地域包括保健師が把握している課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、病院関係者から「薬が自己管理できないなら、施設に入所するしかない」と言われたことがあり、地域の中で服薬に係る支援を共有しなくてはいけないと考えている。 ・はぼろ調剤薬局は服薬支援に積極的な薬局で、薬局で支援中の方の情報も連絡をくれる。 ・町内の薬局で居宅療養指導をとっている薬局は、はぼろ調剤薬局とツルハ調剤薬局の2か所。 ・しかし、ツルハ調剤薬局は薬剤師の配置が1名のため、どのような体制で訪問指導に行っているのかは不明。
遠別町	<p>R3年度より重複・頻回受診者・多剤投与者対策事業を実施。</p> <p>役場内国保係と保健師で、重複・頻回受診者、多剤投与者のデータをKDBシステムから保健指導対象者のリストを作成。</p> <p>保健師による多剤投与者への保健指導を実施している。</p>
天塩町	<p>地域包括支援センターと地元薬局の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずっと以前より地元薬局（キタ調剤薬局）とは連携が取れており、地域ケア会議にも薬剤師が積極的に参加してくれる。 ・家族介護教室の講師も積極的に引き受けてくれ、地元薬局への信頼は厚い。